

# 幸せを感じる町を目指し 安全・安心のまちづくり

平成 25 年第 1 回町議会定例会が、2 月 26 日から 3 月 21 日までの 24 日間にわたり行われ、初日に川村光明町長が町政運営の所信を述べました。ここでは、町長の平成 25 年度施政方針（要旨）と予算の概要についてお知らせします。

私は、町長就任以来、「創造、決断、実行」を基本理念とし、町民誰もが安全・安心で幸せを感じることができ、町の実現を目指し、対話の中から町民の皆さまが何を求めているかを見出しつつ、ご意見を尊重しながら町勢発展のため最大限の努力を傾注し、誠心誠意取り組んでまいりました。

一昨年 3 月 11 日の東日本大震災津波による未曾有の大災害によって被災され、お亡くなりになりました方々のご冥福を心からお祈りいたしましたとともに、行方不明となられている方々の一日も早い発見をお祈りするところでもあります。また、不自由な暮らしを余儀なくされている被災者の方々に、改めてお見舞い申し上げます。沿岸被災地の早期復興を願うとともに、今後でもできる限りの支援をしてまいりたいと考えております。

移転改築事業は、昨年 1 月から新校舎での授業がスタートし、5 月に屋外運動場、6 月にはプール及び外構工事が完成したことにより、7 月に落成式を行い、生徒や保護者、教職員など、新しい地域での交流が生まれ、新しい歴史が刻まれております。また、矢幅駅前地区土地区画整理事業は、一昨年から本格的に工事が着手され、平成 27 年の完成を目指して順調に進んでおります。

第 6 次矢巾町総合計画後期基本計画の 3 年目である平成 25 年度は、厳しい状況下ではあるものの、あらゆる手法により歳入の確保に努め、緊急性や費用対効果を検証しつつ、歳出の徹底した見直しを行い、「選択と集中」を図ることにより、政策的な事業に要する経費を厳選して計上するなど、財政規律を堅持しながら着実に執行してまいります。

平成 25 年度当初予算の概要について、第 6 次矢巾町総合計画の施策の大纲であり、5 つの基本施策に沿って、主要な事業に關し具体的な取り組みや課題について、ご説明申し上げます。（左ページを参照）

平成 25 年度は、第 6 次矢巾町総合計画後期基本計画の 3 年目であることから、前年度までの実施計画における課題や達成状況などを検証し、平成 27

## 平成 25 年度 施政方針の主な施策

### ①自然、都市と農村が調和するまちづくり

■農業基盤の整備…徳田第二地区と下矢次地区について、本換地に向けて事業を推進します。また、農地・水保全管理対策に取り組む組織を、引き続き支援します。

■都市基盤の整備…矢幅駅前地区土地区画整理事業について、新しい魅力あるまちづくりのため最重要事業として進め、複合施設建設に向けての基本設計及び実施設計に取り組みます。

■幹線道路網の整備…岩手医科大学附属病院の移転計画などと整合性を図りながら、アクセス道路の整備を推進し、徳田橋架け替えの早期完成について、関係機関の連携のもと要望活動を行います。また、「(仮称)矢巾スマートインターチェンジ」の設置については、実施計画書を策定した後、国に連結許可申請を行います。

### ②地域に根ざした活力ある産業のまちづくり

■農業の振興…「農業担い手支援事業」や「やはば集落営農応援事業」などを実施し、担い手である集落営農組織への支援、認定農業者の所得向上を目指します。また、付加価値の高い商品の導入や複合経営の導入を図り、人材育成や農工商連携の促進による 6 次産業化の推進に向けた取り組みを支援します。各集落における「人・農地プラン」策定と、担い手となる中心経営体の育成や農地集積に向けた支援を行います。

■商工業の振興…商工会や商業団体と連携し、地域の魅力を発信する賑わい創出イベントなどを支援するほか、矢幅駅前地区商業集積形成実現化に向けた事業を支援し、活力ある商店街の形成に取り組めます。また、もりおか起業ファンドへの出資を行い、創出された企業による地域経済活性化の推進に努めます。

■雇用対策…国や県などと連携し、雇用創出事業の推進に努めるほか、インターンシップの取り組みによる就労支援を図ります。

### ③安全で快適なやすらぎのあるまちづくり

■生活道路の整備…より地域に身近な町道の整備は、地域への資材支給等を行い、行政と地域が協働で行う「協働の道づくり事業」を推進し、新しい道路整備のあり方や取り組み手法について検討しながら取り組みます。

■環境保全…昨年に引き続き、住宅用太陽光発電システム設置に対して補助金を交付します。また、再生可能エネルギーの導入を図り、町内 2 施設に太陽光発電システムの導入設置を進めます。

■災害に強いまちの形成…共助組織としての自主防災組織をすべての地域で結成し、地域ぐるみの防災体制と防災意識の高揚をはかります。また、小中学校に発電機と投光器を整備するとともに、備蓄用品を各避難所に計画的に配備します。

### ④安心で生きがいのある健康長寿のまちづくり

■高齢者福祉の充実…災害時要援護者台帳をもとに災害時の避難支援体制を整備し、日ごとの見守り体制の確立を推進します。認知症施策総合推進事業を活用して医療機関及び介護福祉機関との連携により、認知症の方及び介護する家族に対する支援体制を確立します。

■少子化対策・児童育成支援…保育サービスの充実を推進するとともに、民間保育園の施設整備事業を支援し、町立煙山保育園の整備事業にも取り組みます。

■健康づくり…今後 10 年の健康づくりの指針となる「健康やはば 21 (第 2 次) 計画」を策定します。特定健康診査と特定保健指導は、ヘルスアップ事業と連動させながら、岩手医科大学や医師会などの専門機関や自治会と協働型の実施体制を確立し、新たな強化地区の設定を行うとともに若年層の特定健診も新たに実施します。がん検診について、従来の地区公民館型の集団検診に併せ、医療機関に委託する個別検診、長期間実施できる通年型検診など、がん検診を受けやすい体制の構築に努めます。

### ⑤たくましく豊かな心を育てるまちづくり

■旧矢巾中学校跡地の活用…旧矢巾中学校の既存施設は解体し、土地の利用について町の活性化につながる活用方法を検討します。

■文化財の保存と活用…国指定の史跡徳丹城跡について、造営千二百年記念事業の一部継承し、夢灯りや電飾を行うなど広く情報発信に努めます。

■2016 年岩手国体…平成 28 年に岩手県で開催される国民体育大会について、デモンストレーションスポーツであるスポーツチャンバラとラジオ体操の普及・促進を目的とした講習会を開催します。

すが、景気回復の遅れにより基金残高が大きく目減りすることも予想されることから、計画されている事業の繰り延べや規模見直しなど、一層慎重な財政運営に努めていかなければなりません。

現下の景気動向の中では、計画どおりの財源確保が保障されているものではなく、財政を圧迫することも想定しておりますが、本町においては、財政の健全化を第一に考え、町民の皆さまに不安や不信感を与えないよう健全経営に努めてまいります。

平成 25 年度の一般会計予算規模は、矢巾中学校移転改築事業が完了したことから、対前年度比約 4 億 9 千万円の減で、87 億 5 千万円となりますが、緊急性、重要性および費用対効果などを勘案したうえで、「選択と集中」を念頭に採択した事業においては、財政健全化の観点から必要最少限の予算を配分し、創意と工夫で支障が生じないように事業を執行するとともに、なお一層の経費削減に努めてまいります。

今後も町民憲章に掲げる「和といたわりと希望の町」の実現を目標として、安全・安心の町を目指し、思いやりの心を重視し、引き続き「スビードアンドチャレンジ」をキャッチフレーズに、創意と工夫を凝らして、業務執行に取り組んでまいります。私は、すべての町民が幸せを感じる事ができる行政運営を行うため、全力を傾注し町政を遂行してまいります。

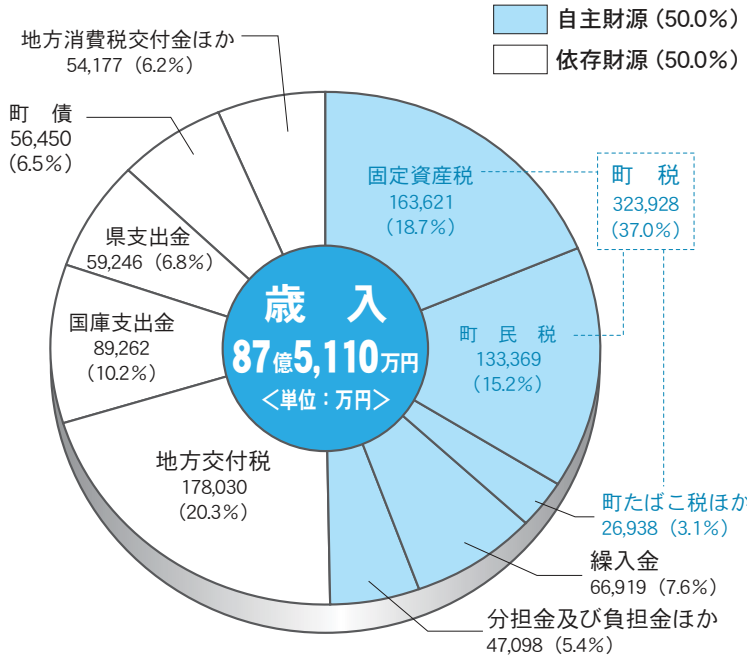
平成25年度一般会計  
**予算**  
87億5,110万円  
限られた財源を有効に活用

予算は、4月1日から翌年の3月31日までの一年間に、町がどんな事業にどれくらいの経費をかけて行うかを示すもので、一般会計と特別会計、企業会計の3つからなっています。

■一般会計予算

平成25年度の一般会計当初予算は、87億5110万円となりました。矢中学校建設事業の完了により教育費が減少し、前年比約4億9千万円の減額となっています。

町に入るお金(歳入)については、自主財源である町税は、税制改正による個人住民税の伸びなどが期待され、約3千万円増額の見込みです。自主財源全体としては、前年比約1億円増額となり、全体に占める自主財源の割合は50.0%となりました。依存財源である



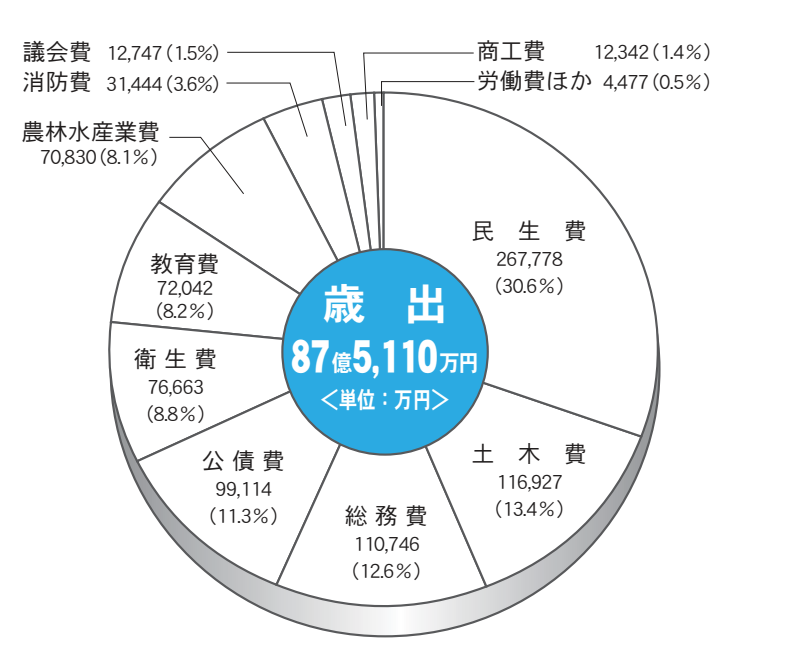
\*\*\* 財 政 用 語 解 説 \*\*\*

■地方交付税＝町の財政力に応じて国から配分されるお金 ■町債＝大きな事業を行うときに借りるお金 ■国庫・県支出金＝事業に対し国や県から交付される補助金など ■繰入金＝積立てした基金を取り崩したお金 ■総務費＝全般的な事務経費や財産管理、統計調査費、広報経費など ■民生費＝老人や障がい者、児童などの社会福祉のための経費 ■公債費＝事業を行うために借りたお金の返済金 ■自主財源＝町税や繰入金など町が独自に調達できるお金 ■依存財源＝国や県から交付されるお金や割り当てられる収入

地方交付税や県支出金は、制度改正などから、前年比約6億円の大幅な減額となりました。

お金の使い道(歳出)では、児童手当や障害者自立支援事業などで民生費が約26億8千万円(30.6%)となり、教育費が矢中学校建設事業が完了したため、前年比約5億5千万円減額の約7億2千万円(8.2%)となっています。

■特別会計・企業会計予算



平成25年度特別会計・企業会計の予算 単位: 万円 (千円を四捨五入)

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	238,949	水道事業	収益的支出 54,964
介護保険事業	167,981	資本的支出	36,652
後期高齢者医療	15,186	下水道事業	収益的支出 102,608
矢幅駅周辺地区画整理事業	206,421	資本的支出	97,231



一般会計予算を町民一人当たりで見ると・・・  
**327,536円**  
平成25年3月1日  
現在の人口26,718人

主な事業の内容  
＜単位：万円(千円を四捨五入)＞

■■■■ 総務費 ■■■■

- ▶職員研修事業…………… 240
- ▶行政区管理運営事業…………… 1,230
- ▶人材育成事業(国際交流)…………… 300
- ▶交通安全対策事業…………… 641
- ▶防犯対策事業…………… 169
- ▶コミュニティ推進事業…………… 548

■■■■ 土木費 ■■■■

- ▶道路維持事業…………… 4,895
- ▶除雪事業…………… 2,273
- ▶矢巾スマートインターチェンジ整備事業…………… 8,193
- ▶橋梁維持事業…………… 1,240
- ▶駅東西自由通路等維持管理事業…………… 1,886
- ▶住宅改修事業…………… 4,414

■■■■ 衛生費 ■■■■

- ▶成人検診事業…………… 4,654
- ▶母子保健事業…………… 3,309
- ▶予防接種事業…………… 7,222
- ▶感染症総合対策事業…………… 284
- ▶浄化槽設置整備事業…………… 1,011
- ▶ごみ処理場運営事業…………… 4億 1,205

■■■■ 農林水産業費 ■■■■

- ▶農業経営構造対策事業…………… 956
- ▶農作物流通消費拡大事業…………… 257
- ▶農業生産振興対策事業…………… 894
- ▶かんがい整備事業…………… 3,028
- ▶農業体質強化基盤整備促進事業…………… 9,350
- ▶林業振興対策事業…………… 3,215

■■■■ 消防費 ■■■■

- ▶非常備消防事業(消防団など)…………… 3,097
- ▶防災用品備蓄事業…………… 710
- ▶消防自動車更新事業…………… 2,312

■■■■ 商工費 ■■■■

- ▶商工業振興事業…………… 2,120
- ▶中小企業振興資金貸付事業…………… 755
- ▶自然公園整備事業…………… 1,479

■■■■ 労働費 ■■■■

- ▶就労者支援事業…………… 132
- ▶融資貸付制度事業…………… 2,300